



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月26日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4552 URL <https://www.jcrpharm.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営戦略本部長 (氏名) 伊藤 洋 TEL 0797(32)1995
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,808	12.5	2,066	34.5	2,260	8.5	1,610	17.7
2023年3月期第1四半期	9,606	△2.1	1,536	△48.5	2,083	△30.5	1,368	△10.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,789百万円 (30.5%) 2023年3月期第1四半期 1,370百万円 (△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	12.91	12.85
2023年3月期第1四半期	11.06	11.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	95,775	52,959	54.3
2023年3月期	94,937	52,413	54.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 51,969百万円 2023年3月期 51,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,900	7.4	5,600	12.5	5,200	△4.0	3,800	0.7	30.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	129,686,308株	2023年3月期	129,686,308株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	4,897,814株	2023年3月期	4,910,773株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	124,782,090株	2023年3月期1Q	123,762,831株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

売上高は108億8百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト[®]」および腎性貧血治療薬は、2023年4月に薬価改定がありましたが、販売数量が大きく増加し、「イズカーゴ。点滴静注用10mg」も好調に推移しました。アストラゼネカ株式会社の新型コロナウイルスに対するワクチン原液の国内製造の受託を予定どおり終了したことなどによる減収はありましたが、主力製品が好調に推移した結果、前期に比べて増収となりました。

営業利益は20億66百万円（前年同期比34.5%増）、経常利益は22億60百万円（前年同期比8.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億10百万円（前年同期比17.7%増）となり、いずれも増益となりました。

積極的な研究開発活動の結果、研究開発費は4.7%増加し22億94百万円（前年同期比1億3百万円増）となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
売上高	9,606	10,808	12.5
営業利益	1,536	2,066	34.5
経常利益	2,083	2,260	8.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,368	1,610	17.7

②主な売上

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト [®]	3,134	4,222	34.7
ムコ多糖症Ⅱ型治療剤 イズカーゴ。点滴静注用	1,070	1,239	15.8
腎性貧血治療薬	875	1,615	84.5
エポエチンアルファBS注「JCR」	660	602	△8.8
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	214	1,012	371.0
再生医療等製品 テムセル [®] HS注	1,041	1,063	2.1
ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」	519	471	△9.3
その他	—	547	—
医療機器	21	37	69.5
契約金収入	1,010	1,612	59.6
AZD1222原液	1,931	—	—

③研究開発の状況

[ライソゾーム病治療薬]

- ・当社では現在、17種類を超えるライソゾーム病治療薬について、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」を適用した新薬の研究開発に重点的に取り組んでおります。
- ・血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤パピナフスプ アルファ（開発番号：JR-141）については、米国において米国食品医薬品局（FDA）より2022年12月にRare Pediatric Disease（※1）の指定を受けております。2022年2月にはグローバル臨床第3相試験において最初の被験者への投薬が開始されており、現在、被験者の登録を進めております。なお、2020年12月にブラジル国家衛生監督庁（ANVISA）に製造販売承認申請を行っていましたが、2022年8月に非承認となりました。現在実施中のグローバル臨床第3相試験の結果を用いて再度申請を行うことを予定しております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症Ⅰ型治療酵素製剤Iepunafusp alfa（開発番号：JR-171）については、現在、日本・ブラジル・米国での臨床第1/2相試験において、2022年3月に計画した全例の登録を完了し、最終解析を実施しております。グローバルでの臨床第3相試験の早期開始に向けて、準備を進めております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢA型治療酵素製剤（開発番号：JR-441）については、ドイツ連邦共和国規制当局 Paul-Ehrlich Institute (PEI)に第 I/II 相試験のCTA (clinical trial application) が受理されました。現在、2023年度上半期中のリクルートの開始を目指し、治験プロトコルの最終調整を行っています。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢB型治療酵素製剤（開発番号：JR-446）については、現在、2024年度中のグローバル臨床試験開始に向けた取り組みを進めております。
- ・その他のJ-Brain Cargo[®]を適用したライソゾーム病治療薬（ボンペ病治療薬（開発番号：JR-162）、スライ症候群治療薬（開発番号：JR-443）、GM2ガングリオシドーシス治療薬（開発番号：JR-479）についても、研究開発を順次行うとともにグローバル展開を推進してまいります。なお、フコシドーシス治療薬（開発番号：JR-471）につきましても、2022年10月に締結した実施許諾契約に基づき、株式会社メディパルホールディングスに対し、日本を除く全世界における研究・開発、製造および販売などの事業化に関する再実施許諾権付の独占的実施権を許諾いたしました。本治療薬を創出した企業としてライセンサーの立場で参画し、本治療薬の早期事業化に貢献いたします。

[基盤技術の創出]

- ・JCR 独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」の様々なモダリティへの応用可能性を広げる研究の他、J-Brain Cargo[®]技術に続く新たな基盤技術の創出に注力しております。
- ・2023年5月にアンジェリーニファーマとてんかんを対象疾患として、J-Brain Cargo[®]技術を適用した新規生物学的治療薬の独占的グローバル開発および商業化契約を締結しました。

[再生医療等製品]

- ・「テムセル[®]HS注」の新たな適応拡大として新生児低酸素性虚血性脳症（開発番号：JR-031HIE）に対する臨床第1/2相試験を終了し、現在解析中です。

[ヒト成長ホルモン製剤]

- ・「グロウジェクト[®]」の骨端線閉鎖を伴わないSHOX異常症における低身長（開発番号：JR-401X）の効能追加については、2023年6月に一部変更承認を取得しました。
- ・遺伝子組換え持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）の臨床第2相試験を実施しており、予定していた統計解析を完了し、臨床第3相試験の開始に向けた準備を進めています。

※1 Rare Pediatric Disease指定

希少小児疾患の予防と治療のための新薬および生物製剤の開発を促進することを目的としているもの。今後の米国における製造販売承認のための優先審査バウチャーを取得できる可能性がある。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は957億75百万円（前連結会計年度末比8億38百万円増）、負債合計は428億16百万円（前連結会計年度末比2億92百万円増）、純資産合計は529億59百万円（前連結会計年度末比5億45百万円増）となりました。

流動資産は、未収入金が減少した一方で、現金及び預金、売掛金及び契約資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加して480億69百万円となりました。固定資産につきましては、繰延税金資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億71百万円増加して477億6百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ63億18百万円減少して294億43百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ66億10百万円増加して133億72百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ5億45百万円増加して529億59百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント上昇して54.3%となりました。

現時点では当社グループにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響は受けておりませんが、今後の世界情勢の見通しが立たない中、当社グループがグローバルで持続的な成長を行うために、機動的かつ安定的に資金調達手段を確保する必要があり、各金融機関との間で、バックアップラインとして運転資金を確保する事を目的として、総額230億円のコミットメントライン契約を締結しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は前年同期比で増収増益となり、期初予想通りの傾向であり、2024年3月期の業績予想に関しましては、2023年5月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,278	15,331
売掛金及び契約資産	11,137	12,671
商品及び製品	1,098	146
仕掛品	5,717	5,838
原材料及び貯蔵品	11,699	12,296
その他	4,870	1,785
流動資産合計	47,802	48,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,128	7,037
土地	10,379	10,379
建設仮勘定	13,008	13,246
その他(純額)	2,165	2,058
有形固定資産合計	32,681	32,720
無形固定資産		
特許権	2,434	2,365
その他	1,217	1,455
無形固定資産合計	3,652	3,821
投資その他の資産		
投資有価証券	8,867	8,770
その他	1,938	2,398
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	10,800	11,164
固定資産合計	47,135	47,706
資産合計	94,937	95,775
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,563	623
短期借入金	16,800	10,700
1年内償還予定の社債	500	500
未払法人税等	33	242
圧縮未決算特別勘定	11,996	11,996
賞与引当金	974	1,526
役員賞与引当金	114	143
その他	3,779	3,711
流動負債合計	35,762	29,443
固定負債		
長期借入金	5,500	12,100
従業員株式給付引当金	95	88
退職給付に係る負債	924	944
その他	241	239
固定負債合計	6,761	13,372
負債合計	42,523	42,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,384	10,384
利益剰余金	34,273	34,635
自己株式	△2,978	△2,971
株主資本合計	50,740	51,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555	624
為替換算調整勘定	146	253
退職給付に係る調整累計額	△20	△18
その他の包括利益累計額合計	681	859
新株予約権	740	740
非支配株主持分	251	249
純資産合計	52,413	52,959
負債純資産合計	94,937	95,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,606	10,808
売上原価	2,933	3,363
売上総利益	6,672	7,445
販売費及び一般管理費	5,136	5,379
営業利益	1,536	2,066
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	15	13
為替差益	540	484
その他	6	21
営業外収益合計	564	520
営業外費用		
持分法による投資損失	—	297
支払利息	10	19
支払手数料	3	2
その他	3	6
営業外費用合計	16	326
経常利益	2,083	2,260
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,083	2,260
法人税、住民税及び事業税	45	1,122
法人税等調整額	668	△469
法人税等合計	713	653
四半期純利益	1,369	1,607
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,368	1,610

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,369	1,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	68
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	58	35
退職給付に係る調整額	2	2
持分法適用会社に対する持分相当額	—	75
その他の包括利益合計	1	181
四半期包括利益	1,370	1,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,357	1,789
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。